

令和6年度 鳥取県次代の文化芸術を担う人材育成事業補助金 助成事業  
【次世代活動者育成支援事業】

事業名	打吹童子ばやし第32期定期演奏会 「MATSURI」～たくさんのありがとうを一打に込めて～
日時	令和6年4月14日(日) 午後2時半開演
会場	エースパック未来中心 小ホール
実施者(団体)	打吹童子ばやし
補助金額	60千円

打吹童子ばやしは、倉吉に伝わる、天女を想い二人の童子が太鼓と笛を奏でた「打吹天女伝説」を心のふるさととして、子どもたちの笛太鼓で伝えていこうと結成された小学生による和太鼓連で、倉吉市を中心に、県内外で演奏活動を行っている。

定期演奏会では、数々のオリジナル曲の演奏に加え、打吹童子ばやしの活動を動画で紹介した。また、童子ばやしを卒業した中高生を中心としたグループ、「和太鼓 LEGEN 童」も演奏を披露した。

子どもたちの希望を優先して、6年生の思い入れの強い曲を選曲し、難易度の高い曲もあったが、特別練習の回数を増やすなどして本番に臨んだ。

当日は約230人の来場があり、鑑賞者からは、「力強く凛とした演奏にパワーを感じた」、「子どもたちの成長ぶりに感動した」といった感想があった。



令和6年度 鳥取県次代の文化芸術を担う人材育成事業補助金 助成事業  
【次世代活動者育成支援事業】

事業名	令和6年度 全国合同バレエの夕べ
日時	令和6年8月8日(木) 午後4時半開演
会場	新国立劇場・オペラハウス(東京都渋谷区)
実施者(団体)	公益財団法人日本バレエ協会 山陰支部
補助金額	300千円

「全国合同バレエの夕べ」は、公益社団法人日本バレエ協会が主催し、新国立劇場・オペラハウスを会場に、同協会の本部及び各地の支部が集まり、それぞれ作品を上演するバレエコンサートである。

山陰両県のバレエ指導者等で構成される公益財団法人日本バレエ協会山陰支部は、バレエ「海賊」第1幕より重要なポイントを抜き出して20分程度に凝縮し、山陰両県でバレエに取り組む青少年を中心とした17人のダンサーで上演した。出演者の中には、鳥取県出身で現在イギリス、ロシア等に留学している高校生もあり、人数が少ない中でも質の高い演目を創り上げ、全国に発信した。

参加者からは「日本最大規模の舞台を踏むことができうれしかった」、「また機会があれば山陰の魅力を伝えたい」といった感想があり、日々真摯にバレエに向き合う子どもたちにとって、全国の舞台に挑戦する貴重な経験になった。



令和6年度 鳥取県次代の文化芸術を担う人材育成事業補助金 助成事業  
【次世代活動者育成支援事業】

事業名	夏休みミュージカル体験事業 演目 「すいか畑のむこう側～約束・伝言編」
日時	令和6年8月31日(土) 1回目公演:午後1時開演 2回目公演:午後5時開演
会場	北栄町大栄農村環境改善センター
実施者(団体)	特定非営利活動法人 まちづくりネット
補助金額	150千円

県中部地域の小、中学生、高校生を対象に、地元を題材にしたオリジナルミュージカルの体験と公演を行い、ミュージカルを通して豊かな感性を養うとともに、様々な年代の子どもたちがともに取り組むことで、より豊かな人間形成を図り、文化芸術活動を担う人材育成の機会ともなった。ミュージカルの内容は、子どもたちの友情や思い出づくりをテーマにした物語で、演出の指導者は県外から招聘し、ダンスと歌は県内の指導者が担当した。また、公演当日の裏方は、これまでのミュージカル参加者が務め、後継者が育っている。

2回の公演で約280人の来場があり、鑑賞者からは、「小学生がのびのびと演技していた」、「物語がとても感動的だった」、「来年が楽しみ」といった感想があった。一方で、観客数が伸び悩んでおり、コロナ以前の水準に戻すことが課題となっている。



撮影:里田晴穂

令和6年度 鳥取県次代の文化芸術を担う人材育成事業補助金 助成事業  
【次世代活動者育成支援事業】

事業名	鳥取 JAZZ・デトロイトジャズフェスティバル次世代交流事業
日時	令和6年 8月30日(金)～9月4日(水)
会場	アメリカ合衆国(ミシガン州)・デトロイト
実施者(団体)	鳥取 JAZZ 実行委員会
補助金額	300千円

鳥取 JAZZ 実行委員会では、2019年からデトロイトジャズフェスティバルとの交流事業を展開しており、令和6年度は、高校生と大学生によるグループが同フェスティバルに参加した。

8月31日には、現地の学生との交流会を行い、鳥取県を紹介するなどして交流を深めた。また、デトロイトジャズフェスティバルのステージと一緒に演奏することになり、演奏者の組み合わせやアレンジについて話し合い、リハーサルをしたのち、ウォーターフロントステージで演奏を披露した。

9月1日には、大学生を中心としたジャズグループ「The Bop 's」がウォーターフロントステージに出演し、現地の聴衆からも賞賛されたほか、世界各地から集まったミュージシャンによる世界トップレベルのパフォーマンスにふれて帰国した。

参加した学生からは、「セッションで、現地の高校生のレベルの高さ、多彩なコード進行やアドリブに衝撃を受けた」、「世界中のいろんな人と音楽という言葉で通じることができると実感した」といった感想があった。



令和6年度 鳥取県次代の文化芸術を担う人材育成事業補助金 助成事業  
【次世代活動者育成支援事業】

事業名	国際青少年音楽祭 in リエカ 2024への参加と訪問都市での文化交流
日時	令和6年9月30日(月)～10月7日(月) (国際青少年音楽祭 in リエカ 2024:10月4日(金))
会場	クロアチア共和国・リエカ
実施者(団体)	山陰少年少女合唱団 リトルフェニックス
補助金額	300千円

米子市を中心に活動する山陰少年少女合唱団 リトルフェニックスは、「歌はともだち」を合言葉に、日頃の演奏活動に加え、国際交流にも積極的に取り組んでおり、令和5年5月にはリトアニア・カナウスを訪問し、令和6年3月にはブルガリアの合唱団を迎えて交流した。

今回の交流事業では、コロナの影響で延期となっていたクロアチア共和国・リエカにおける国際青少年文化祭に参加し、日本古謡「さくらさくら」、傘踊りや扇子を用いた踊りとともに歌う山陰の民謡「きなんせ節」、「関の五本松」など、日本や山陰の文化を伝えるステージを披露し、リエカの合唱団との合同演奏も行った。会場からはスタンディングオベーションがおり、「ブラボー」の声とともに、あたたかい拍手で包まれた。

団員は現地の家庭でホームステイを行い、学校や高齢者施設を訪問するなどして交流を深め、参加した団員からは「言葉が分からなくても音楽をとおしてつながることができた」、「日本語の歌を喜んでもらって嬉しかった」などの感想があり、音楽を通して、日本、クロアチア両国の青少年が相互理解を深めるとともに、多くの学びと成長を得る機会となった。



令和6年度 鳥取県次代の文化芸術を担う人材育成事業補助金 助成事業  
【次世代活動者育成支援事業】

事業名	鳥取市少年少女合唱団 創立45周年記念定期演奏会
日時	令和7年3月20日(木・祝) 午後3時開演
会場	とりぎん文化会館 梨花ホール
実施者(団体)	鳥取市少年少女合唱団
補助金額	300千円

鳥取市少年少女合唱団は創立以来、年1回の定期演奏会(コロナ禍で2回中止)や夏休みコンサート、クリスマスコンサートを開催している。また、県や市のイベントへの積極的参加、コンクールや国民文化祭等の県外への遠征など活動の幅を広げている。

創立45周年記念となった今回の定期演奏会では、鳥取市民合唱団をゲストに迎え、唱歌やアニソンから合唱組曲、賛美歌まで幅広い曲を披露した。特に市民合唱団との合同演奏で披露した「大地讃頌」の混声合唱は、世代を超えた共演で圧巻と大好評であった。また、OB との合同演奏も行い、団員からは「OB の歌声に感動しながら一緒に歌えて楽しかった」といった感想があり、これからの合唱への意欲につながる機会となった。

そのほか、うたものがたり「ごんぎつね」では、原作をもとに団員の個性を引き出せるようにキャストिंग、シナリオ、一部作曲や編曲を行った。幼児から高校生の団員32名で協力して準備・練習を行い、達成感を得られた演奏会となった。

当日は約650人の来場があり、鑑賞者からは、「様々なジャンルの曲を聴けて楽しかった」、「構成がすばらしく、あっという間の2時間だった」、「色々と趣向があり、まっすぐな歌声が素敵な見応えのある演奏会だった」といった感想があった。



令和6年度 鳥取県次代の文化芸術を担う人材育成事業補助金 助成事業  
【若年層のための公募展・コンクール開催支援事業】

事業名	全国アマチュアバンド選手権 TEENS ROCK IN YONAGO 中国地区大会
日時	令和6年6月23日(日)
会場	オールガイナーレ YAJIN スタジアム(米子市安倍)
実施者(団体)	TEENS ROCK IN YONAGO 実行委員会
補助金額	200千円

「全国高校生アマチュアバンド選手権」への出場権をかけた地区予選を、高校生とともに実施した。「全国高校生アマチュアバンド選手権」は、茨城県ひたちなか市で開催され、優勝バンドには「ROCK IN JAPAN FESTIVAL」でのステージ演奏権が贈られる、高校生のバンド選手権である。

当日はあいにくの雨であったが、約100名の来場があり、県内に加え、島根、岡山両県から集まった高校生バンド8組が熱いステージを繰り広げた。鳥取県ゆかりのプロアーティストが審査員を務め、優勝バンド「あくび」(岡山県から出場)には、「全国高校生アマチュアバンド選手権」への出場権が与えられた。また、会場には14店舗のマルシェが出店し、会場を盛り上げた。

出場者としてだけでなく、大会の企画、運営にも高校生ボランティアが携わり、実行委員会メンバーである米子青年会議所の会員が高校生の活動をサポートした。

高校生の参加者からは、「プロのミュージシャンに審査員をしていただくことで、技術向上のためのアドバイスがもらえて有意義だった」、「企画運営してみて、近隣の方への挨拶周りなど、学生生活では体験できない貴重な体験ができた」といった感想があった。



令和6年度 鳥取県次代の文化芸術を担う人材育成事業補助金 助成事業  
【若年層のための公募展・コンクール開催支援事業】

事業名	第1回 鳥取県児童生徒短歌コンクール
日時	作品募集:令和6年6月1日~8月31日 表彰式:令和6年11月10日
会場	表彰式:倉吉交流プラザ
実施者(団体)	鳥取県歌人会
補助金額	292千円

県内の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の児童生徒から、1人1首の短歌を募集し、鳥取県歌人会に所属する審査員によって審査が行われた。全ての応募作品が、県民短歌賞への応募作品とともに作品集に掲載され、優秀者には、鳥取県民短歌大会の中で行われた表彰式において、鳥取県知事賞をはじめとする各賞を授与した。

県内各地の22校から、小学生123人、中学生281人、高校生458人の応募があり、定型詩である短歌の魅力に触れるとともに、作品づくりを通して、自分や周りとの関係を再発見するきっかけになった。

鳥取県知事賞

今日友とけんかしちゃった友情がより深まった気がした夏の日

鳥取県立日野高等学校 1年 長榮 侑真

鳥取県議会議長賞

帰り道大きな山が太陽をひき込んでゆく夕の始まり

北栄町立北条中学校 2年 山本 淳

鳥取県教育長賞

「バス乗った」急いで送信祖母宛に既読と共に踊るスタンプ

湯梨浜学園高等学校 2年 河野 向日葵

令和6年度 鳥取県次代の文化芸術を担う人材育成事業補助金 助成事業  
【若年層のための公募展・コンクール開催支援事業】

事業名	第12回 山陰バレエコンクール
開催日	令和7年3月30日(日)
会場	米子市文化ホール
実施者(団体)	公益社団法人日本バレエ協会山陰支部
補助金額	300千円

県内の日々バレエ研鑽に勤しむ青少年層のその年齢時点での国際基準にのっとった技能判定を行うことでモチベーションの高揚や技術の向上を図り、ひいては若い有能なダンサーの発掘や将来の道を開くことを目的に開催。

【参加者数】

- プレコンAの部(7～9歳) 28名
- プレコンBの部(10～15歳) 17名
- 児童の部(9歳～12歳) 21名

【参加者の声】

- ・結果を励みに今後も技術向上目指したい。(10代)
- ・悔しさをバネに来年は上位入賞を目指したい。(10代)

【鑑賞者の声】

- ・初めて見た。これほどまでに美しい小中学生がいることに驚いた。(30代)
- ・山陰両県のバレエ文化が年々発展しているのが感じられた。来年も若い人の成長が楽しみ。(80代)

【成果等】

- 地元から国内外でプロダンサーとして活躍する者も輩出するなど、この活動の意義は大きく、来年も日頃バレエを学ぶ若手ダンサーが出場できる大会を企画し若手の育成を目指したい。
- バレエ文化が浸透していない鳥取県で山陰両県のバレエ活動を多くの人に知ってもらい、バレエを通じて舞踊文化の面白さが一定数伝わった。
- 文化活動に携わる若い世代が活躍できる場があることを引き続き周知し、またバレエに馴染みの薄い人にも楽しく見てもらえるよう、部門やバレエの歴史等の座学、ワークショップ等を新設するなど工夫して毎年継続し、さらなる若手の発掘、育成にも努めていきたい。